

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45 (17)	入浴を楽しむことができる支援	昨年に引き続き、ご家族様アンケートにも知りたい項目(入浴の回数など)として挙がってきており、入浴についての取り組みを行っていききたい。	まずは入居者様の入浴についての希望を確認し、手浴や足浴などの回数を増やし、健康管理及び安眠にもつなげていきたい。ご家族様に対しての連絡方法についても、月のお便りの中でご報告できるように、書式の見直しを進めていく。	3ヶ月
2	43 (16)	排泄の自立支援	現在尿とりパッドやリハビリパンツ、オムツを使用している方が多く、自立支援という考えのもとに、排泄についてももう一度考え直す必要がある。スタッフの意識改革と入居者様の状況把握を行っていく。	再度各入居者様の状況把握を行い、排泄の関係で尿とりパッドやリハビリパンツなどの必要性を確認する。その中で普通の下着に戻せる方や、尿とりパッドの必要がない方などの見極めを行い、自立支援へ向けての実践を行っていく。	6ヶ月
3	40 (15)	食事を楽しむことのできる支援	食材の買い物、準備、食事作りについて、もっとスムーズで自然な形で行って行けるように検討を行う。現在はどうしても継続出来ていない部分もあり、それらをどうやっていか話し合いの場を持ち実施していく。	現在、食事の準備については厨房スタッフにも申し送りに参加してもらい、準備及び食事作りについての調整を行っている。今後は、週間予定表(又は月間予定表)などを作成し、計画的に継続できるように検討していく。	6ヶ月
4	1(1)	理念の共有と実践	スタッフも以前とは入れ替わりもあり、新しいホームの運営理念を検討する。	職員会議の場で、新しいホーム理念を作る。現在のスタッフの想いを理念として具現化し、その理念が入居者様の実りある生活をサポートしていくことが出来ればと思います。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。